



霧島市 よんたもんせニュース

霧島市の国際交流員(CIR)及び外国語指導助手(ALT)による情報誌

アメリカ国際交流員: Jerry Yee (ジェリー・イー)

今月号はアメリカの国際交流員の記事を掲載します。

過去の情報誌は (<http://www.mct.ne.jp/users/kokusaioryu/yontamonse/yontamonse.html>) をご覧ください。

一年間 皆さんのお世話になり、あいごとさげました！物語のエンディングのように、私の国際交流員としての物語の第三幕もそろそろ終わります。霧島にいる一年間には、色々な出会いと体験を得ることができました。霧島を離れても、霧島でできた思い出を忘れず、大切にします。本当はもう一年霧島にいたいのですが、勉強のため、一年で帰国することになりました。

私の出身地、アメリカ、サンフランシスコ市については、以前紹介したので、私の故郷、中国広州について最後に紹介します。



広州は中国の南東部に位置し、中国の第3の都市です。2,200 年以上の歴史を持っている広州の面積は約 3843 km² (霧島市の約 5 倍) で、人口は約 25,000,000 人 (市街地人口は 14,000,000 人) です。秦の時代に、秦の名将、趙佗が南中国を征服するため、紀元前 214 年に番禺県(今の広州)を設置しました。秦の滅亡に伴い、趙佗は番禺を首都として、南越国を設立しました。当時の南越国は広東、広西、ベトナムにかけて地方を統治し、広東省を表す「粵」(越)と「ベトナム」(越南)という名はこの時代から来ています。広東語(粵語)という方言もこの時代に東南アジアの言語からの言葉や発音の影響で生まれました。



広州都城隍廟 (1370 年に完成)



広州大仏寺 (917 年に完成) の新正門



雨天の北京路

紀元前 111 年、南越国は漢に征服され、番禺は当時広州の州都になりました。南北朝時代の戦乱を避けるため、多くの漢人が広州に移住し、広州の経済開発がこの時点から始まりました。珠江という川に設置された広州は当時中国の海上貿易の中心になり、国際文化と政治の交流の中心地とも言われています。唐の時代になると、広州は唐政府が実施した自由貿易政策のお蔭で中国初の海外へ開放された港町になり、黄金時代に入りました。当時、広州に滞在した海外商人の人口は 10 万人以上に達するという記録があります。明と清の時代の鎖国主義の中、広州は唯一海外に開放された港であったため、中国の対外貿易を独占しました。しかし、鴉片戦争が起こり、敗北した清朝は南京条約などの不平等条約により、上海を含む 5 つの港を開放させられると同時に、香港は英国の植民地になりました。結果広州は対外貿易の独占を失いました。



石室聖心大聖堂（1888 年に完成）



広州タワー

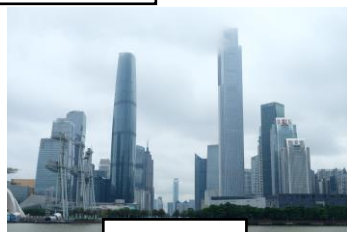
1990 年代、中華人民共和国の改革開放政策により、広州の再開発が行われ、中国の製造産業の中心地になりました。1990 年代の改革の代表的な都市の 1 つなので、今の広州は南中国の貿易中心地として知られています。現在、広州は中国の 4 つの一線都市の 1 つになり、南中国の繁栄の代表的な都市です。経済だけではなく、広州の食文化もとても豊富です。「食在広州」（食は広州に）という熟語すらあります。ワンタン麺、点心などの代表的な中華料理は広州で発祥され、中国の飲食首都です。是非広東の文化を体験しに、広州に行ってみてください！



花城広場からの広州タワー



広州市路面電車



珠江新城



牛雑



細蓉ワンタン麺

9月国際交流イベントのお知らせ

中国語教室 初級

9月17日(火) 18時30分～19時30分

中国語教室 中上級

9月19日(木) 14時～15時

韓国語教室

9月19日(木) 18時30分～19時30分

韓国語でティータイム

9月25日(水) 14時30分～15時30分

新アメリカ交流員と交流しよう！

9月27日(金) 14時～15時